

<新校舎平面計画について>

■「高円寺地域における新しい学校づくりの基本的な考え方」に対する具体案

【凡例】
赤字・・・小中一貫教育校として特に配慮した施設計画

資料4

1 新校の教育方針

- 子どもたちの学習・生活の場において、義務教育9年間の学びの系統性・連続性を重視した指導を行うことにより、基礎学力の定着や学習習慣の確立とともに、豊かな感性を磨き、たくましく生きる力と強い体を育む。
- 高円寺地域の特性を生かし、地域全体を「学び舎」と捉え、家庭・地域・学校が子どもたちの学びと成長について目標を共有し、職場体験活動やボランティア活動など、豊かな成長の機会を確保しながら、社会とかわる力を育む。
- これまで培ってきた就学前教育施設との連携、リーダーシップを育む教育、地域密着型のキャリア教育など、3校の優れた教育の特色を継承・発展させるとともに、教科の特性を生かした言語活動の充実を図り、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を養い、社会の変化に対応していく力を育む。



- ・施設の階構成は昇降口からの移動距離等を考慮し、低層階を小学生ゾーン、高層階は中学生ゾーンとして計画します。各ゾーンに特別教室などの小中共用諸室を設けることで、校内での自然な交流が生まれる施設構成とします。**・・・A-1**
- ・ラーニングセンターやランチルームなどの小中共有諸室を集約し、小学校と中学校のつながりを生む計画を行います。**・・・A-2**
- ・小・中職員室を2階に一つにまとめることで、教員同士の情報共有が日常的に行われ、9年間の学びの系統性・連続性を重視した指導が図れる計画とします。**・・・A-3**

2 豊かな人間性を育む学習環境等の整備充実

- 杉並らしいみどり豊かな、自然に触れあえ、季節感を感じられる教育環境を確保する。
- 運動習慣の確立と体力・運動能力の向上を図るため、校庭、体育館、プール、屋上運動スペースなど、9学年の子どもたちが可能な限り、体を鍛え、スポーツができるスペースを確保する。
- 特色ある教育活動の展開や習熟度別・少人数指導などの個に応じたきめ細かい指導の充実を図るための教室・設備を整備する。
- 特別な支援を必要とする児童・生徒に対し、小学校から中学校まで一貫した支援が行える特別支援学級を設置するとともに、個々の教育的ニーズに対応した個別支援が可能となる特別支援教室を設置する。
- 子どもたちが和太鼓、琴、阿波踊りの練習が行える防音設備が整備された多目的室を設置する。
- 子どもたちの交流、未就学児や地域の方との交流の場となるランチスペースを設置する。



- ・西側環状七号線からの騒音対策や隣接する住宅地への配慮を行うとともに、教室の配置や中庭の設置により、学校全体の採光・通風を確保した施設計画を行います。**・・・B-1**
- ・「杉並区みどりの条例」に基づき、既存樹木と同程度の大きさの樹木を選定するなど、改築後も周辺と調和した植栽整備を行うとともに、十分な屋上緑化を行い、みどり豊かな施設計画を行います。**・・・B-2**



- ・児童・生徒の発達状況に応じて、安心して遊ぶことが出来る運動エリアを確保した計画を行います。
- ・十分な校庭面積を確保するとともに、2つのアリーナや武道場、屋上活動エリアを確保し、運動やスポーツができるよう、施設を最大限に活用した計画を行います。**・・・C**



- ・回遊動線の中に教科の魅力を伝える展示・掲示スペースや学年毎のオープンスペースを設け、人・モノ・情報の交流を活性化させます。**・・・D-1**
- ・学年や教科のまとまりをもたせた平面計画を行います。**・・・D-2**
- ・習熟度に応じて授業が可能な少人数教室やオープンスペースなどを併設します。**・・・D-3**



- ・職員が見守りやすく、児童・生徒が安全に過ごせる平面計画を行います。
- ・個別学習室を特別支援教室（巡回型）として活用可能な計画とします。**・・・E**



- ・普通・特別教室以外に多目的利用が可能な諸室を持ったゆとりのある施設構成とします。
- ・様々な利用形態に対応可能な平面計画を行い、普通教室への音などに配慮した計画を行います。**・・・F**

3 安全性が高く、地域防災の拠点となる学校

- 学校専用部分と地域開放の領域に配慮した施設配置や見通しが良い設計、防犯設備などにより児童・生徒の安全を確保した学校とする。
- 児童の放課後の安全と良好な育成環境を確保した学童クラブ及び放課後等居場所事業を実施するための必要なスペースを設置する。
- 地震等の非常災害時に、地域の避難場所、復旧拠点として、地域のライフラインを担う十分な防災機能を備えた学校とする。
- 災害時には地域の高齢者等も利用することも配慮し、だれもが利用しやすいユニバーサルデザインの校舎とする。



- ・学校開放しやすい開放区画を計画します。**・・・G-1**
- ・職員室等の管理諸室は外部側に配置し、教員の管理が行き届く平面計画を行います。**・・・G-2**
- ・校地の外周部に道路に接した歩道を整備し、安全性に留意した地域環境の向上に努めます。



- ・重度重複障害障がい児にも配慮し、子どもたちが過ごしやすい環境に整備するとともに、職員等が運営しやすい平面計画を行います。**・・・H**
- ・放課後も学校施設を利用し、児童が安心して楽しく過ごせる空間づくりを行います。



- ・十分な耐震性を確保した構造計画を行うとともに、天井材・照明器具・ガラスなどの非構造部材の耐震対策を行います。
- ・災害時に備え、太陽光発電と蓄電設備の設置やマンホールトイレ、防災倉庫などを設けた計画を行います。**・・・I**
- ・「杉並区ユニバーサルデザインのまちづくり推進指針」に基づき、階段の段差やトイレ内の洗面台高さ等を検討し、多様な利用者が使いやすいデザインに配慮した計画を行います。

4 地域力を生かし、地域と共に歩む学校

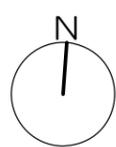
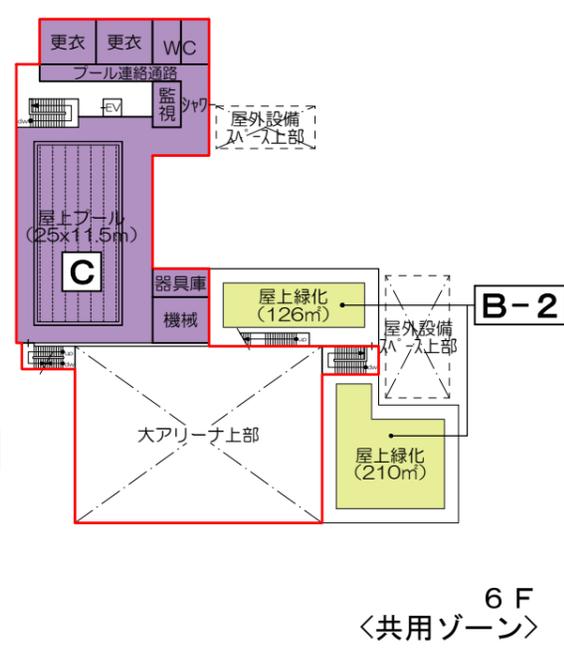
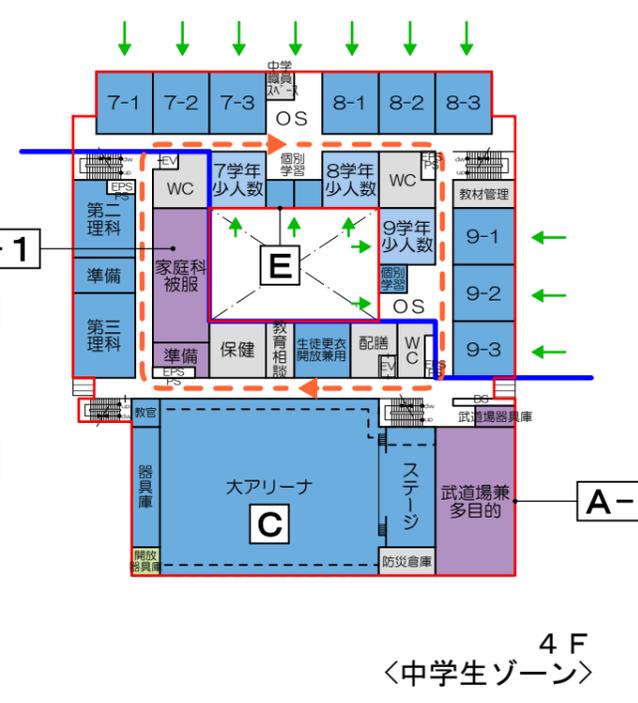
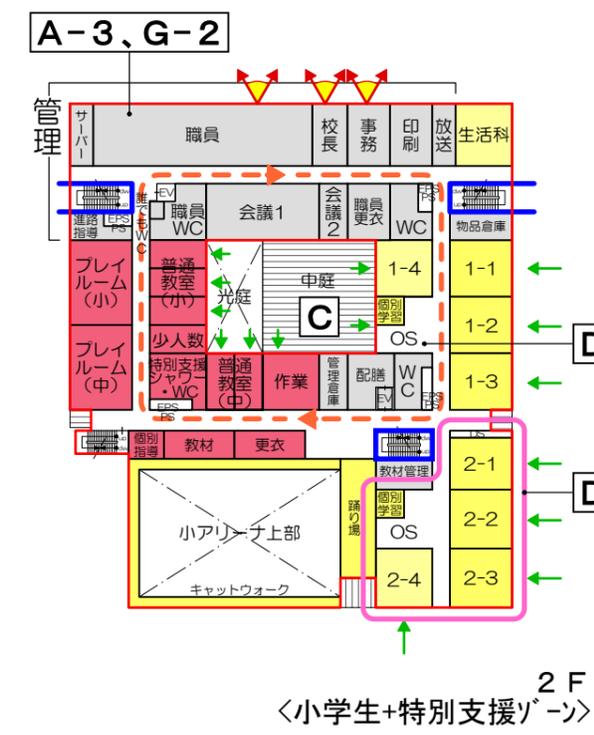
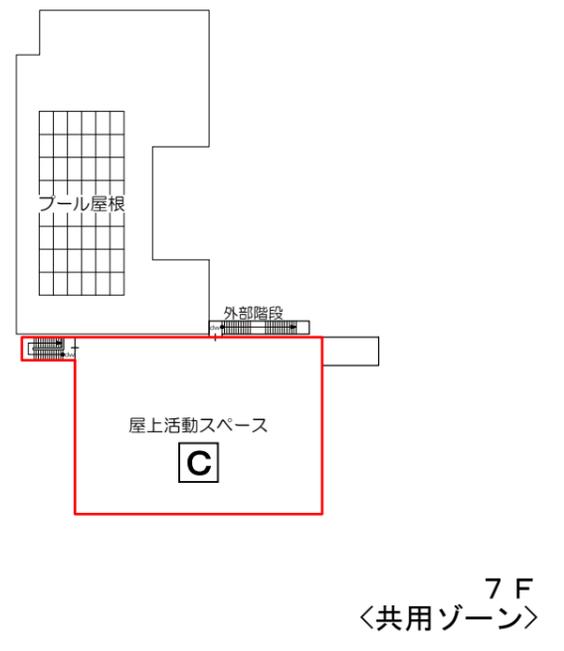
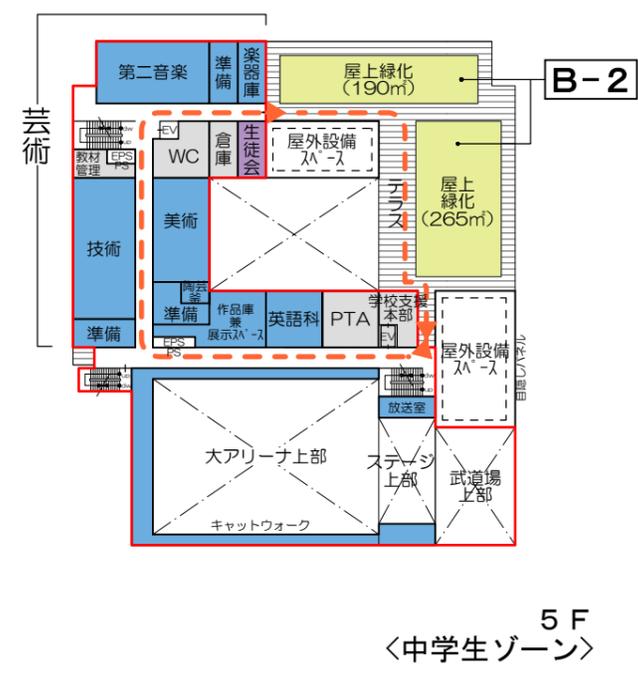
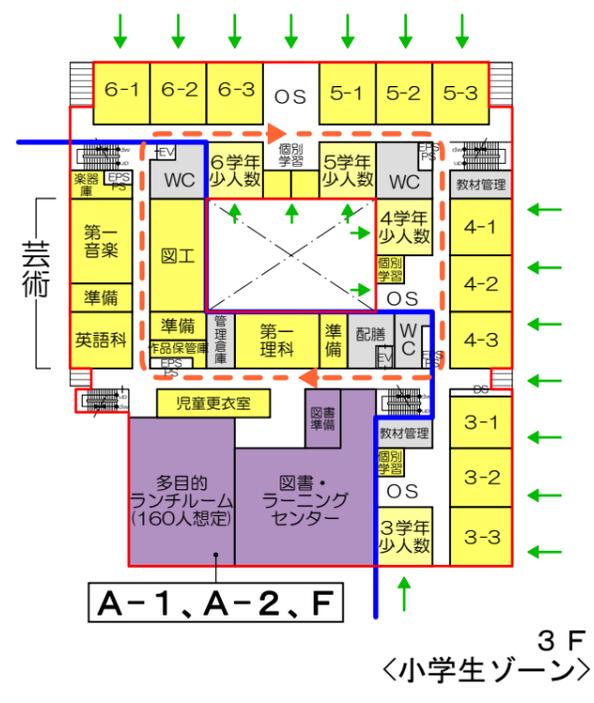
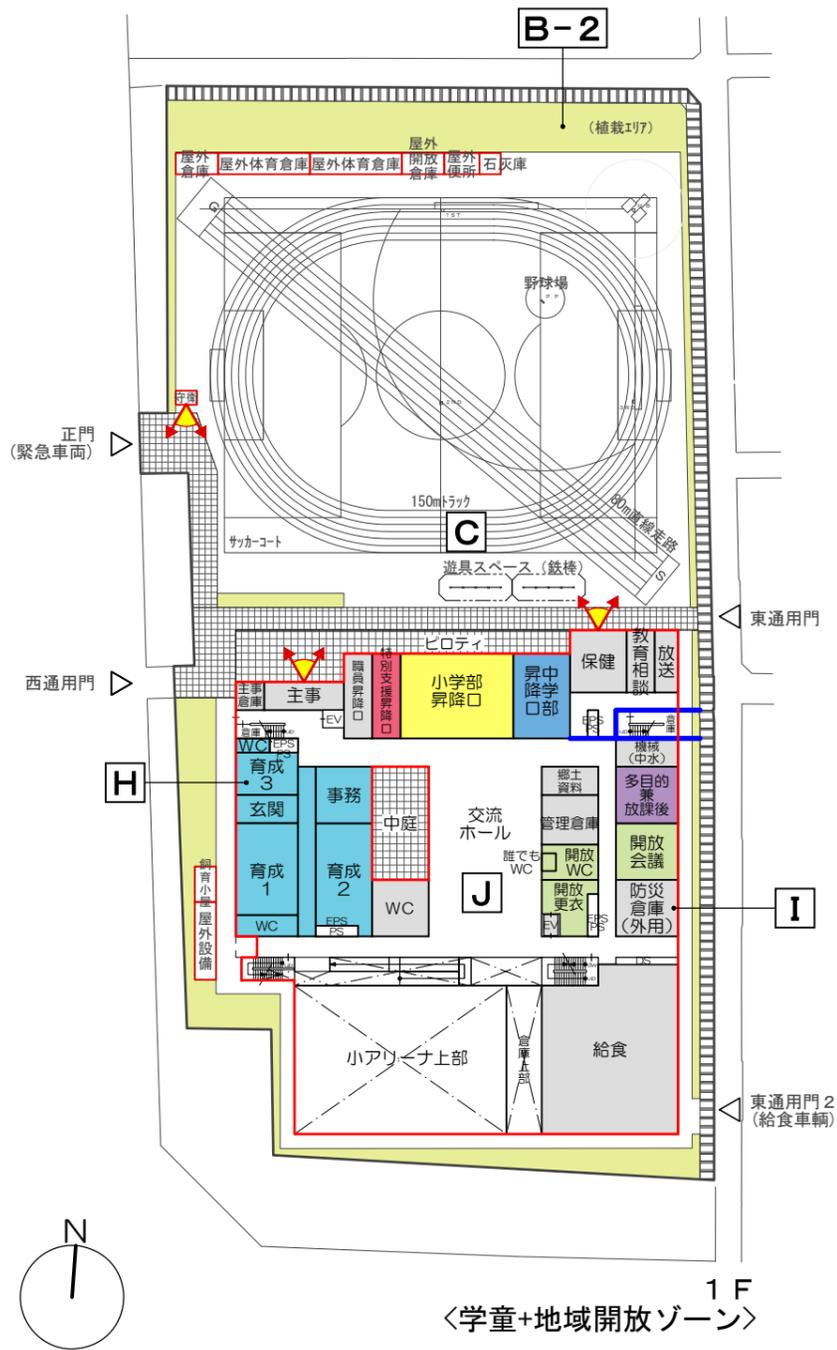
- 保護者や地域住民が学校運営に参画し、地域と一体となり子どもを育てるために、「学校支援本部」や「学校運営協議会」など、学校を支える人たちの活動スペースを設置する。
- 高円寺地域が持つ地域力（教育力）を学校運営に最大限生かすとともに、家庭・地域の教育力も向上させていくために、多世代が触れ合い、互いに学び、成長する場として活用できる地域コミュニティスペースを設置する。



- ・1階に開放諸室を配置するとともに、学校の中心に交流ホールを設け、地域が利用しやすく学校との活発な交流活動を可能とする平面計画を行います。また、交流ホールを児童・生徒の日常的な活動・集会の場とし、小中の豊かな交流を促す計画とします。**・・・J**

■改築校舎 平面計画案

- 【凡例】
- ← 採光・通風 B-1
 - ← 回遊動線 D-1
 - 学年のまとまり D-2
 - 開放区画 G-1
 - ▲ 視認性の確保 G-2



- 小学部
- 中学部
- 共有教室
- 管理室
- 体育関係
- その他諸室
- 特別支援
- 学童クラブ
- 開放諸室